

書字と音声提示のギャップ

—日本人中国語学習者による読解と聴解の比較—

名古屋大学 張婧禕 玉岡賀津雄 勝川裕子

1. はじめに

中国語と日本語の両言語では漢字が使用されている。菱沼 (1983, 1984) は、中国語と日本語の漢字を対比して、旧日本語常用漢字 1,945 字の内、98.1% に当たる 1,908 字が、中国語常用字の約 4,000 字と書字的に類似していると報告している。このように中日両言語では、多くの漢字を共有しており、日本語の漢字知識から書字的に提示された中国語のテキストの理解が促進されることから、日本人学習者は非漢字圏の学習者と比べ、中国語の習得に有利であると言われている (王学松, 2001)。実際、中国語を母語とする日本語学習者を対象とした心理言語学の実験研究でも、書字的に類似した語 (同形語) は、類似しない語 (非同形語) と比べて、語彙処理の時間が速いことが示されている (大和・玉岡, 2009; 早川・玉岡, 2012)。

一方、音声的な特性は、中日両言語で大きく異なっている。鹿島 (2006) によると、中国語は 1 音節内に特定のピッチパターン (4つの声調と軽声) があり、語の意味が区別される。中国語と異なり、日本語にはピッチアクセントがあり、モーラ間の音の高さで同音語の意味を区別する。それだけでなく、中日の発声の調音部位および調音方法の違いも、日本人中国語学習者に中国語の聞き取りを難しくしていると言われている (張卫, 2002)。たとえば、中国語には、そり舌音の *ʃ* と歯茎音の *ʃ* などのような、日本語には存在せず、区別しにくい音素がいくつかある。そのため、日本人中国語学習者には、音声提示された中国語を理解するのは難しいと予想される。

以上のように、書字においては中日で共通した漢字が多い (菱沼, 1983, 1984; 王学松, 2001) もの、音声では中日で大きな違いがある。そのため、日本語を母語とする中国語学習者にとって、音声提示された中国語の理解能力が低いことが中国語教育において指摘されている (幺书君, 2002; 張卫, 2002)。実際、潘潔敏 (2013) は、日本人上級中国語学習者を対象に中国語学習に関するアンケート調査を行い、書字提示による理解 (読解) と音声提示による理解 (聴解) の違いについて調査した。その結果、読解は聴解や会話よりも良くできると学習者は回答している。ただし、この調査はあくまで学習者の経験的な主観的評価である。これまで、第二言語習得においては、読解と聴解には大きな隔たりがあることが指摘されているものの、実際に読解と聴解にどの程度の違いがあるかについて、客観的に測定した

研究は稀である(酒井ほか, 2009)。そこで、本研究では、書字と音声で同じ中国語テキストを提示して、読解と聴解の得点を直接比較する。これにより、日本人中国語学習者の書字または音声提示条件での理解の違いについて厳密かつ詳細に検討する。

2. 研究方法

2.1 調査対象者

本研究では、日本語を母語とし、外国語として中国語を学んでいる82名の大学生を調査対象者とした。最年長は22歳7ヶ月、最年少は19歳9ヶ月で、平均年齢は20歳6ヶ月、標準偏差は7ヶ月であった。中国語の学習期間は、日本の4年制大学で平均1年9ヶ月であった(調査対象者は第二外国語必修科目として1コマ90分の授業を1年次に週2コマ、2年次に週1コマ履修。共に1コマ年間30回)。調査対象学生の中国語レベルは、漢語水平考試(HSK)がインターネット上で公開した各級の一覧表(<https://www.hskj.jp/level/>)に照らし、2級と3級の間位置していると想定され、参加者82名全員の中国語のレベルはほぼ同じくらいであると考えられる。

2.2 調査内容および実施方法

調査対象である日本人中国語学習者のレベルに合わせて、HSKの公式ページ(<http://www.chinesetest.cn/godownload.do>)で公開されている2級と3級で出題された過去の問題を用いて、テストを作成した。2人で1往復する会話を「短い会話文」とし、10問から成る。音声提示の聴解では、これを男女の会話とした。2人で2往復する会話を「長い会話文」とし、10問の構成とした。2往復会話文は、決して「長い」とは言えないが、「短い」会話文との対比として、「長い」という表現をここでは使用する。聴解における音声提示は男女の会話とした。1文ないしは2文から成る会話形式を取らない平述文の理解は「短い平叙文」とし、5問を作成した。聴解における音声提示は、女性の声で録音した平叙文がスピーカーから聞こえるように設定した。3文以上の平叙文からなるものは、「長い平述文」とし、5問で構成した。「短い平叙文」と同様に、音声提示の聴解では、女性の声でスピーカーから流した。以上の4つの下位分類で、合計30問のテストを作成した。問題は、三者択一の問題が25問と正誤判断の問題が5問である(テスト問題は補記を参照)。これらの30問の問題を書字で提示したものが読解テストであり、同じ問題を音声で提示したものが聴解テストである。2016年12月に、調査対象者82名を2つに分けて、41名に読解テストを、41名に聴解テストを実施した。調査は、4クラスで行い、2クラスで読解テスト、もう2クラスで聴解テストを実施した。

3. 分析

3.1 読解および聴解テストの記述統計とクロンバックの信頼度係数

読解および聴解テストの4つの下位分類の平均、標準偏差は表1に示したとおりである。

表1 書字提示の読解テストと音声提示の聴解テストの結果と *t* 検定による比較検討

テキスト理解の 下位分類	満点	書字提示(読解)		音声提示(聴解)		書字-音声 =差	<i>t</i> 検定 <i>p</i>
		平均	標準偏差	平均	標準偏差		
短い会話文	10	8.93	1.35	5.49	1.93	3.44	***
長い会話文	10	7.49	1.90	4.59	2.14	2.90	***
短い平叙文	5	3.78	0.91	3.27	1.38	0.51	*
長い平叙文	5	2.93	1.08	2.46	1.27	0.46	<i>ns</i>
合計	30	23.12	4.05	15.80	4.72	7.32	***

注: $N=82$. * $p<.05$. *** $p<.001$. *ns* は有意でないことを示す。

書字提示の読解テストは、全体で30点満点中、平均が23.12点で、標準偏差は4.05点であった。その中で、「短い会話」の平均は8.93点で、標準偏差は1.35点、「長い会話」の平均は7.49点で、標準偏差は1.90点、「短い平述文」の平均は3.78点で、標準偏差は0.91点、「長い平述文」の平均は2.93点で、標準偏差は1.08点であった。一方、音声提示による聴解テスト全体は、30点満点中、平均が15.80点で、標準偏差が4.72点であった。「短い会話文」の平均は5.49点で、標準偏差は1.93点、「長い会話文」の平均は4.59点で、標準偏差は2.14点、「短い平述文」の平均は3.27点で、標準偏差は1.38点、「長い平述文」の平均は2.46点で、標準偏差は1.27点であった。

クロンバックの信頼度係数(α)を用いて、両テスト(聴解・読解)の測定精度を検証した。クロンバックの信頼度係数とは、複数の質問項目で構成されるある概念を測定するために作られたテストについて、それらの項目間の内的整合性を調べることで、テストの測定精度を表す指標である。項目の測定誤差が小さいほど信頼度係数が大きくなる。係数は、0から1の間で変化し、1に近いほど信頼性が高くなり、0.80以上であれば、信頼性が非常に高いと判定される。本研究では、82名の対象者による両テスト30問のクロンバック信頼度係数(α)は0.83で、非常に高い信頼度を示した。

3.2 独立したサンプルの *t* 検定による書字提示と音声提示でのテキスト理解の検討

書字提示による読解テストを受けた41名と音声提示による聴解テストを受けた41名の被験者を独立したサンプルの *t* 検定で比較した(結果は表1を参照)。テストにおける書字提示(読解)と音声提示(聴解)の理解の差は有意であった[7.32点の差, $t(80)=7.534, p<.001$]。つまり、書字で提示したテキストのほうが、音声で提示したテキストよりも理解しやすいことを示している。さらに、テストの下位分類についても両提示方法による理解力を比較した。書字提示と音声提示の差は、短い会話テキスト[3.44点の差, $t(80)=9.368, p<.001$]、長い会話テキスト[2.90点の差, $t(80)=6.488, p<.001$]、短い平述文テキスト[0.51点の差, $t(80)=1.986, p<.05$]で、いずれも有意であった。しかし、長い平述文テキストの差の0.46点は、有意ではなかった[$t(80)=1.781, ns$]。以上のように、長い平述文テキストでは両提示法の差における違いがみら

れず、書字提示が音声提示よりも常に高い得点になるとは限らないことが分かる。以下では、書字と音声の両提示法についてテキスト別に、理解の差を検討する。

3.3 下位分類別の書字・音声提示の違いに関する検討

書字提示と音声提示の理解の差を、下位分類の問題のテキストごとにカイ二乗分布を使用した母比率の差の検定（独立性の検定ともいう）で検討した。母比率の差の検定では、正答者数と誤答者数の比率が書字提示と音声提示で有意に異なるかどうかを、 2 （書字、音声） $\times 2$ （正答、誤答）で検討した。

3.3.1 短い会話文の理解

問題1から問題10は、男女2人の短い会話の内容についての質問である。表2は、各問題項目について、書字提示（41名）および音声提示（41名）による正答者数と誤答者数をそれぞれ集計し、母比率の差の検定の結果を示したものである。分析の結果、問題1 [$\chi^2(1)=26.65, p<.001$]、問題2 [$\chi^2(1)=15.96, p<.05$]、問題3 [$\chi^2(1)=5.51, p<.05$]、問題4 [$\chi^2(1)=11.39, p<.001$]、問題5 [$\chi^2(1)=10.30, p<.001$]、問題6 [$\chi^2(1)=4.90, p<.05$]、問題7 [$\chi^2(1)=12.18, p<.001$]、問題8 [$\chi^2(1)=8.57, p<.05$]、問題9 [$\chi^2(1)=37.81, p<.001$]、問題10 [$\chi^2(1)=4.97, p<.05$] のすべてにおいて、書字提示のほうが音声提示よりも有意に理解度が高かった。このような個々の問題の正答者数の比較から、中日で漢字表記を共有していることが、中国語の書字的な理解（読解）を促進するように貢献していることが分かる。

この種の問題では、キーワードが聞き取れれば、容易に回答できる。たとえば、問題6は、“A: 今天太晚了，我们别去小张家了。B: 好，明天再去吧。问: 他们今天为什么不去小张家？”（A: 今日は遅すぎるので、張さんの家に行かないことにしよう。B: いいよ、また明日行こう。問: なぜ彼らは今日張さんの家に行かないことにしましたか。）という問題では、“今天太晚了”（今日は遅すぎる）という理由が示されている。“晚”という書字から容易に理解できるようなのであるが、これが音声で提示されると理解が難しくなることが分かる。また、問題9の“A: 吃点儿水果吧？水果在桌子上。B: 不，我想喝点儿茶。问: 桌子上有什么？”（A: 果物を食べない？果物は机の上にあるよ。B: いいえ、私はお茶が飲みたいな。問: 机の上に何がありますか。）という会話文において、この問題のキーワードは“水果”（果物）であり、これが分かれば正答が分かる。中国語の“水果”と日本語の「果物」では、“果”を共有しており、書字的には理解し易いのに対し、音声提示では、日本語の漢字知識が援用できないので、理解するのが難しかったのではないかと思われる。

表2 短い会話文の書字と音声提示による内容理解の正答・誤答者数とその差の検討

問題	書字提示 (n=41名)		音声提示 (n=41名)		正答者数の差	カイ二乗分布を使った母比率の差の検定
	正答者	誤答者	正答者	誤答者		
問題1	40	1	19	22	21	$\chi^2(1)=26.65, p<.001$
問題2	36	5	19	22	17	$\chi^2(1)=15.96, p<.05$
問題3	38	3	30	11	8	$\chi^2(1)=5.51, p<.05$
問題4	41	0	31	10	10	$\chi^2(1)=11.39, p<.001$
問題5	33	8	19	22	14	$\chi^2(1)=10.30, p<.001$
問題6	34	7	25	16	9	$\chi^2(1)=4.90, p<.05$
問題7	37	4	23	18	14	$\chi^2(1)=12.18, p<.001$
問題8	31	10	18	23	13	$\chi^2(1)=8.57, p<.05$
問題9	39	2	12	29	27	$\chi^2(1)=37.81, p<.001$
問題10	37	4	29	12	8	$\chi^2(1)=4.97, p<.05$

注：実際の問題は補記を参照。

3.3.2 長い会話文の理解

長い会話のテキストの問題は、1文の形式で長い会話（2往復）の内容について質問するものである。表3は、問題11から問題20までの項目について、書字および音声提示による正答者数と誤答者数、さらにカイ二乗分布を使った母比率の差の検定の結果を示した。分析の結果、問題11 [$\chi^2(1)=11.55, p<.001$]、問題12 [$\chi^2(1)=0.198, ns$]、問題13 [$\chi^2(1)=8.29, p<.05$]、問題14 [$\chi^2(1)=20.77, p<.001$]、問題15 [$\chi^2(1)=4.90, p<.05$]、問題16 [$\chi^2(1)=7.31, p<.05$]、問題17 [$\chi^2(1)=8.24, p<.05$]、問題18 [$\chi^2(1)=3.12, ns$]、問題19 [$\chi^2(1)=12.00, p<.001$]、問題20 [$\chi^2(1)=12.50, p<.001$]の10問中8問で書字提示のほうが音声提示よりも有意に正答者が多かった。10問のうち、8問は書字提示のほうがより理解できたことから、書字知識による促進効果があったと言えよう。

一方、問題12と問題18では、両提示法による差は有意ではなかった。問題12では、女性Aの“你准备好了几双筷子？”（お箸を何膳準備したの。）という問いに対し、男性Bが“三双啊。”（三膳だよ。）と答える。さらに、女性Aが“再拿两双，你爷爷奶奶一会儿就过来，我们一起吃。”（あと二膳を持ってきて。おじいちゃん、おばあちゃんがすぐ来るから、一緒に食べよう。）と返答し、さらに男性Bが“好，妈，碗在哪儿呢？”（分かった。お母さん、茶碗はどこ。）と返答している。この対話に対し、“说话人最可能是什么关系？”（話している二人はどのような関係だと思われますか。）という質問が続く。音声提示だと、男女2人の会話となり、呼びかける時の“妈”（母さん）のような親族関係に関するキーワードから推測し易くなったのであろう。書字提示だと、提示文には“爷爷奶奶”（おじいちゃんおばあちゃん）のような親族関係を表す語もあるため、推測を阻害したと思われる。その結果、聴解では正答者17名で、読解でも正答者19名となり、両者には有意な違いはみられなかった。このように、音声提示での会話の呼びかけから親族関係が推測され易い場合には、聴解と読解は同

表3 長い会話文の書字と音声提示による理解の正答・誤答者数とその差の検討

問題	書字提示 (n=41名)		音声提示 (n=41名)		正答者数 の差	カイ二乗分布を使った 母比率の差の検定
	正答者	誤答者	正答者	誤答者		
問題11	36	5	22	19	14	$\chi^2(1)=11.55, p<.001$
問題12	19	22	17	24	2	$\chi^2(1)=0.198, ns$
問題13	37	4	26	15	11	$\chi^2(1)=8.29, p<.05$
問題14	38	3	19	22	19	$\chi^2(1)=20.77, p<.001$
問題15	27	14	17	24	10	$\chi^2(1)=4.90, p<.05$
問題16	35	6	24	17	11	$\chi^2(1)=7.31, p<.05$
問題17	27	14	14	27	13	$\chi^2(1)=8.24, p<.05$
問題18	25	16	17	24	8	$\chi^2(1)=3.12, ns$
問題19	34	7	19	22	15	$\chi^2(1)=12.00, p<.001$
問題20	29	12	13	28	16	$\chi^2(1)=12.50, p<.001$

注：実際の問題は補記を参照。

じくらの正答者になる傾向がみられた。

問題18では、女性Aの“听说你要去国外读书？”（海外へ勉強に行くそうですね。）という問いかけに対し、男性Bが“是，下周五的飞机。”（そうです。来週金曜日の飛行機です。）と答えている。女性Aが“那祝你在新的一年里学习更上一层楼。”（それでは、新しい1年で、あなたが良い成績を修めるようにお祈りいたします。）と言い、男性Bが“谢谢您！”（ありがとうございます。）と返答している。その後、この会話について“女的希望男的怎么样？”（女性は男性の何を祈りましたか。）という質問が続く。ここで、“那祝你在新的一年里学习更上一层楼。”（それでは、新しい1年で、あなたが良い成績を修めるようにお祈りいたします。）から正答の“有更好的成绩”（より良い成績を修める）を導くことができる。この問題は、発話意図の推測に関わっており、単純に語の意味を理解しただけでは、正解は導き難いであろう。そのため、書字提示と音声提示の差はみられなかったと考えられる。このように、書字提示条件では、語のレベルでの理解には有効に機能するようであるのに対し、文の全体的な理解では、それほど効果的ではないようである。

3.3.3 短い平述文を理解

問題21から問題25は、1文か2文によって構成された短い平述文の理解である。各項目について、書字および音声提示の正答者数、誤答者数を表4に示した。さらに、各質問項目の書字・音声提示の違いは、カイ二乗分布を使った母比率の差の検定を用いて検討した。分析の結果は、表4に示した。問題21 [$\chi^2(1)=5.55, p<.05$]、問題22 [$\chi^2(1)=12.17, p<.001$]、問題24 [$\chi^2(1)=8.26, p<.05$]の3間については、音声提示と書字提示での理解の差が有意であった。これら3問のうち、問題24だけは、音声提示の正答者数（28名）が書字提示の正答者（15名）よりも多かった（正答者数の差が13名）。問題24は、“喂，姐，我的飞机是十点零七的，

表4 短い平述文の書字と音声提示による正答・誤答者数とその差の検討

問題	書字提示 (n=41名)		音声提示 (n=41名)		正答者数の差	カイ二乗分布を使った母比率の差の検定
	正答者	誤答者	正答者	誤答者		
問題21	36	5	27	14	9	$\chi^2(1)=5.55, p<.05$
問題22	37	4	23	18	14	$\chi^2(1)=12.17, p<.001$
問題23	34	7	29	12	5	$\chi^2(1)=1.71, ns$
問題24	15	26	28	13	-13	$\chi^2(1)=8.26, p<.05$
問題25	33	8	27	14	6	$\chi^2(1)=2.24, ns$

注：実際の問題は補記を参照。

再有 21 分钟我就到机场了。我们下午见。”（もしもし、姉さん、私の飛行機は 10 時 7 分です。あと 21 分で、空港に着きます。午後、会いましょう。）という平述文の後、“我在去机场的路上。”（今、私は空港に行く途中です。）という文が続き、この文の内容が正しいかどうかを判断する問題である。ここでの重要な情報は“再有 21 分钟我就到机场了”（あと 21 分で空港に着く）であるため、空港に向かっていると解釈するべきである。音声提示ではこの平述文が電話での会話であることが明確に分かり、“到机场”（空港に着く）が聞き取れさえすれば、この文が正しいと推測できる。それに対し、書字提示の場合、飛行機の便に関する情報もあり、飛行機に乗ると間違えて判断してしまう可能性がある。このように、音声提示での聴解よりも書字提示での読解のほうがより正確に判断できたのは、書字提示では、情報が多過ぎたため、これがむしろ理解を阻害したためではないかと思われる。また、音声提示では、電話の会話での状況情報が付加されるために、より理解し易くなったのではないかと思われる。

また、問題 23 [$\chi^2(1)=1.71, ns$] と問題 25 [$\chi^2(1)=2.24, ns$] では、書字と音声提示の理解で有意な違いはみられなかった。読解と聴解の正答者は共に多く、テキストのキーワードが理解できれば、正しく答えられる問題である。たとえば、問題 25 “昨天和朋友们在外面玩儿了一个晚上，很累，但是很高兴。”（昨日、友だちと外で一晩中遊んだ。疲れたが、楽しかった。）の後で、“昨天玩儿得不高兴。”（昨日は遊んだけど、楽しくなかったです。）という文へと続く。この文に対して、逆接詞“但是”（しかし）があっても、単純に提示文にある“高兴”（楽しい）は漢字知識から意味が分かれば正しく判断できる。このような簡単な語彙レベルの理解であれば、読解と聴解の違いはなく、いずれも容易に判断できるようである。

3.3.4 長い平述文の理解

問題 26 から問題 30 までは、長い平述文の理解である。書字および音声提示によるテキスト理解の正答者数、誤答者数を表 5 に示した。これらの質問項目について書字と音声提示に違いがあるかどうか、カイ二乗分布を使った母比率の差の検定で検討した（表 5 を参照）。その結果、問題 26 [$\chi^2(1)=9.57, p<.05$] と問題 29 [$\chi^2(1)=6.03, p<.05$] に書字と音声提示での正答者数に違いがみられた。

表5 長い平述文の書字と音声提示による正答・誤答者数とその差の検討

問題	書字提示 (n=41名)		音声提示 (n=41名)		正答者数の差	カイ二乗分布を使った母比率の差の検定
	正答者	誤答者	正答者	誤答者		
問題26	28	13	14	27	14	$\chi^2(1)=9.57, p<.05$
問題27	25	16	18	23	7	$\chi^2(1)=2.49, ns$
問題28	21	20	16	25	5	$\chi^2(1)=1.23, ns$
問題29	12	29	23	18	-11	$\chi^2(1)=6.03, p<.05$
問題30	34	7	30	11	4	$\chi^2(1)=1.39, ns$

注：実際の問題は補記を参照。

問題 29 は音声提示の正答者数が書字提示の正答者より多かった。問題 29 は、“昨天晚上睡得太晚，今天起床时已经八点多了，我刷了牙，洗了脸，就出来了，差点儿忘了关门。到了公司，会议已经开始了。没办法，我只能站在外面等休息时间。”（昨晚は寝たのが遅すぎたので、今日起きた時には、もうすでに8時過ぎだった。歯を磨き、顔を洗ってから出かけた。もう少しで戸締りを忘れるところだった。会社に着いたら、会議がすでに始まっていた。仕方がなく、外に立って、休憩時間を待つしかなかった。）という長文の次に、“他今天早上：”（彼は今朝：）という質問が続く。被験者に「復習しなかった」「遅刻した」「戸締りを忘れた」という3つの選択肢の中から適切な内容のものを選んでもらうという形式の問題である。提示文中には、「歯を磨く」「顔を洗う」「出かける」「戸締りを忘れた」などたくさんの情報があるが、これらは正答を導くことができない。一方、日本人中国語学習者は、漢字を共有しているため、音声提示よりも書字提示のほうが情報をより多く得る傾向がある。それが、むしろ誤答を導くことへと繋がってしまうと考えられよう。音声提示では、“会议已经开始了”（会議がすでに始まった）という情報を聞き取り、正答として「遅刻した」を推測できれば良く、結果として、書字提示の12名の正答者と比べて、音声提示の場合は正答者数が23名と多くなったと思われる。このように、情報が複数ある場合には、書字と音声で情報の取得に違いが生じ、書字提示による読解よりも音声提示のほうが有利になる場合もあると考えられる。

問題 27 [$\chi^2(1)=2.49, ns$]、問題 28 [$\chi^2(1)=1.23, ns$] および問題 30 [$\chi^2(1)=1.39, ns$] は、書字提示の読解と音声提示の聴解の正答者数に有意な違いはなかった。これらの問題は、提示文の内容によって、発話者の身分、意図と態度を推測するものである。たとえば、問題 27 は、“请大家把黑板上的这些词写在本子上，回家后用这些词语写一个小故事，别忘了，最少写 100 字。”（皆さん、黑板の上にあるこれらの語をノートに書いてください。帰ってから、これらの語を使って短いストーリーを作ってください。少なくとも 100 字は書くことを忘れないように。）という提示文の後、“说话人最可能是做什么的？”（話し手はどんな仕事をしていると思われますか。）という質問が続き、「先生」「学生」「マネージャー」の3つから解答を選ぶ問題である。発話者の仕事に関する情報がはっきりとテキスト内で提供されておらず、「黑板」という語から、聞き手に指示を出すという状況から、被験者は話し手が教師であることを推測しなくてはならない。そのため、この問題は状況判断で回答できるので、書字提示による

読解と音声提示による聴解が同じ程度になったのであろう。同様に、問題 28 は田舎の自然環境、問題 30 は上海の街の変化が激しいというテキストであり、田舎の地理的な状況や上海の街についての既存の知識から推測できる問題である。そのため、両提示条件での違いがみられなかったのではないかと思われる。

4. まとめ

中日両言語間では漢字が書字的に類似しているため、書字提示による中国語は理解し易いことが実験的に示されている(大和・玉岡, 2009; 早川・玉岡, 2012)。また、中国語教育の現場でも、書字提示の読解より音声提示の聴解のほうが難しいことが指摘されている(王学松, 2001; 幺书君, 2002; 张卫, 2002; 潘潔敏, 2013)。しかし、これまで読解と聴解を直接比較するといった基礎研究は行われてこなかった。そこで、本研究は、中級レベル(HSKの2級から3級のレベル)の中国語能力を持つ日本人学習者に対し、同じテキストの内容を書字と音声で提示し、その理解の違いを測定した。本研究の結果は、以下の3点にまとめられる。

第1に、書字提示による理解(読解)の正答率は全体で77.07%、音声提示による理解(聴解)の正答率は52.67%であり、読解と聴解の全体的な差は24.40%であった。会話文の2種類(20問)については、読解の正答率は82.10%、聴解の正答率は50.40%であり、その差は31.70%であった。また、平叙文の2種類(10問)については、読解は67.10%の正答率であり、聴解は57.30%で、9.80%の差であった。つまり、会話文を書字提示した場合のほうが、平叙文を書字提示にした場合よりも、同じテキストの音声提示と比べて、中日漢字の書字的な類似性の効果が大きいと言えよう。たとえば、問題6、問題9、問題13などの会話文は、テキストのキーワードを理解することで回答できる例である。問題6では“晚”(遅い)、問題9では“水果”(果物)、問題13では“大”(大きい)である。日本人母語話者の漢字知識がこれらのキーワードを理解するのに活用され、その結果、書字提示のほうが音声提示よりも有利であったと思われる。

第2に、全体の30問の内、問題12、問題18の長い会話文の2問、および問題23、問題25、問題27、問題28、問題30の平述文の5問で読解と聴解の差がみられなかった。つまり、30問中7問、23.33%の問題で書字と音声提示に差がなかったことになる。これらの問題は、語レベルの理解ではなく、テキストに基づき、内容を推測する必要がある。とりわけ、問題27の教師という職業、問題28の田舎の環境、問題30の上海の街の変化では、過去の経験や既存の知識からテキストの意味内容を推測できるので、両提示条件で理解の差がなかったと思われる。学習者は漢字知識ではなく、より一般的な知識からテキストを理解したようである。そのため、漢字知識はあまり援用できず、書字提示と音声提示の違いがみられなかったのだと予測できる。

第3に、平述文の内、問題24、問題29の2問は、音声提示が書字提示の正答者より有意に多かった。この2問の特徴としては、テキストで伝えられる情報が多いことが挙げられる。

テキストに含まれる複数の情報の中から、どれが正答に関係するのか、あるいは、どれが正答に関係しないのかを区別しなくてはならない。これは、書字提示されたテキストを漢字知識から理解しようとする、情報過多に陥りやすくなり、結果として、書字提示のほうが音声提示よりも正答するのが難しくなったのではないかと考えられる。

これまで中国語教育においては、書字提示による読解と音声提示による聴解の違いが経験的に語られてきた。本研究では、同じテキストを使って日本人中国語学習者の書字提示の読解と音声提示の聴解の得点を比較した。その結果、全体的には、読解のほうが聴解よりも成績が良いことを示し、中日で共通する漢字知識の援用が成績に大きく寄与していることを実証した。しかし、問題項目によっては読解と聴解の成績が逆転する場合もあった。

以上のように、本研究では、中国語教育における聴解能力の向上のための基礎的な知見を提供した。今後、日本人中国語学習者の聴解能力をどのように向上させるかについて具体的な方策を検討していきたい。

参考文献

[中国語]

王学松(著)陈绂(編)2001 混合班会话课中日本留学生的几种表现及对策,《对日汉语教学国际研讨会文集》, pp.21-28

幺书君 2002 听力难度成因分析,《第七届国际汉语教学讨论会论文集》, pp.217-224

张卫 2002 中级水平的日本学生在汉语听力上的偏误,《第七届国际汉语教学讨论会论文集》, pp.204-211, 世界汉语教学学会

[日本語]

菱沼透 1983 日本語と中国語の常用字彙,『中国研究月報』428, pp.1-20

菱沼透 1984 中国の標準字体と日本の常用字体,『日本語学』3, pp.32-40

鹿島央 2006 『日本語教育をめざす人のための基礎から学ぶ音声学』,スリーエーネットワーク

酒井弘・桜木ともみ・品川恭子・徐愛紅・福田倫子・小野創・玉岡賀津雄・菅原浩子・古川浩治・キャンترلル明代・小野めぐみ 2009 アメリカと中国における日本語学習者の読解力・聴解力の構成要因,『2009年度日本語教育学会春季大会予稿集(春季)』 pp.212-217

潘潔敏 2013 第二言語習得(SLA)と上級中国語授業研究,『札幌大学総合論叢』36, pp.141-156

早川杏子・玉岡賀津雄 2012 中国人・韓国人日本語学習者による聴覚・視覚提示の言語間同形義・言語間異形同義の二字漢字語の処理,『小出記念日本語教育論集』20, pp.17-32

大和祐子・玉岡賀津雄 2009 中国人日本語学習者の日本語漢字語の処理における母語の影響,『ことばの科学』22, pp.117-135

補記 読解・聴解テスト内容

第I部(問1から問10)AとBの短い会話があります。★がついた文が続きます。これは質問文です。この答えとして最も適当なものをA、B、Cの中から1つ選んで、○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1 A: 天气太热了, 家里有西瓜吗?
B: 没了, 我现在出去买吧。
★ 女的要去买什么?
A 牛奶 B 苹果 C 西瓜 | 6 A: 今天太晚了, 我们别去小张家了。
B: 好, 明天再去吧。
★ 他们今天为什么不去小张家?
A 太晚了 B 小张不在 C 不认识路 |
| 2 A: 您是第一次来我们这儿吗?
B: 不是, 去年九月我来过一次。
★ 男的来过这儿几次?
A 一次 B 两次 C 九次 | 7 A: 鱼真便宜, 现在三块钱一斤了。
B: 我买两斤。
★ 鱼多少钱一斤?
A 两块钱 B 三块钱 C 四块钱 |
| 3 A: 你妹妹现在还住在学校里?
B: 对, 她住学校里, 上班很近。
★ 妹妹现在住哪儿?
A 学校 B 公司 C 哥哥家 | 8 A: 你多穿件儿衣服, 外面阴天, 可能会下雨。
B: 没事儿, 我很快就回来。
★ 现在天气怎么样?
晴天 B 阴天 C 下雨了 |
| 4 A: 今天你准备几点起床?
B: 我不睡了, 现在就起。
★ 男的是什么意思?
A 想喝水 B 生病了 C 不睡了 | 9 A: 吃点儿水果吧? 水果在桌子上。
B: 不, 我想喝点儿茶。
★ 桌子上有什么?
A 茶 B 菜 C 水果 |
| 5 A: 小刘, 中午有人给我打电话吗?
B: 您儿子打了个电话, 问您晚上在哪儿吃饭。
★ 电话是谁打的?
A 儿子 B 妈妈 C 丈夫 | 10 A: 明天下午你去唱歌吗?
B: 我想去, 但是我明天下午有课。
★ 男的明天下午做什么?
A 唱歌 B 跳舞 C 上课 |

第II部(問11から問20)AとBの会話があります。★がついた文が続きます。これは質問文です。この答えとして最も適当なものをA、B、Cの中から1つ選んで、○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 11 A: 刚才天气多好啊, 突然就刮起大风了。
B: 北方的秋天就是这样的。
A: 你是南方人, 你们那儿这个季节怎么样?
B: 也刮风, 但没有这么大。
★ 他们在说什么?
A 习惯 B 天气 C 文化 | 我们一起吃。
B: 好, 妈, 碗在哪儿呢?
★ 说话人最可能是什么关系?
A 夫妻 B 妈妈和儿子 C 爸爸和女儿 |
| 12 A: 你准备了几双筷子?
B: 三双啊。
A: 再拿两双, 你爷爷奶奶一会儿就过来, | 13 A: 我帮您拿行李吧。
B: 好的, 谢谢你。那个蓝色的是我的。
A: 哪个是您的?
B: 右边那个最大的, 蓝色的, 上面有我的名字。 |

- ★ 那个行李箱是什么样的?
A 很矮 B 很大 C 黄色的
- 14 A: 明天是晴天还是阴天?
B: 晴天, 比今天冷。
A: 那没关系, 我不怕冷, 我明天要穿我的新裙子。
B: 你决定了? 好, 我看你明天敢不敢穿。
★ 明天天气怎么样?
A 多云 B 很热 C 更冷
- 15 A: 李老师, 您有两个孩子?
B: 不, 我只有一个女儿。
A: 那照片上的这个女孩儿是谁?
B: 那是我们邻居的女儿, 我女儿的好朋友。
★ 那个女孩儿是谁的孩子?
A 邻居的 B 客人的 C 校长的
- 16 A: 现在天“短”了。
B: 天“短”了是什么意思? 我没听懂。
A: 就是说白天的时间短了, 天黑的时间早了, 明白了?
B: 我明白了, 就是晚上的时间长了, 白天的时间短了。
★ 天“短”了表示什么意思?
A 夏天来了 B 月亮出来了 C 天黑得早了
- 17 A: 小姐, 请问表演什么时候开始?
B: 下午两点半。
A: 谢谢, 现在可以进去了吗?
B: 当然可以, 我先看一下您的票, 好, 您向左走, 坐电梯上二层。
★ 关于表演, 下面哪个是对的?
A 在二层 B 影响不大 C 已经结束了
- 18 A: 听说你要去国外读书?
B: 是, 下周五的飞机。
A: 那祝你在新的一年里学习更上一层楼。
B: 谢谢您!
★ 女的希望男的怎么样?
A 不要离开 B 给她写信 C 有更好的成绩
- 19 A: 我的护照在你包里吗?
B: 没有啊, 只有我的。你的放哪儿了?
A: 奇怪, 我记得给你了。
B: 你看看, 在你自己的衬衫里呢。
★ 护照是在哪儿找到的?
A 衬衫里 B 洗手间 C 椅子上
- 20 A: 你在忙什么呢? 刚才打你的手机你也不接。
B: 对不起, 我刚洗了个澡, 没听见, 有什么事吗?
A: 我想问问你公司里的一些事情。
B: 你等一下, 我去把电视的声音关小一些。
★ 男的刚才为什么没接电话?
A 在洗澡 B 在睡觉 C 在看新闻

第Ⅲ部 (問 21 から問 25) 短文が示されます。その後に、★がついた文が続きます。この文が先行した★の短文の内容に意味的に合致している場合には○を、合致していない場合には×をつけてください。

- 21 我上午去外面买了个新手机, 九百多块钱, 很便宜。
★ 那个手机不到一千元。()
- 22 时间过得真快, 我来北京 10 年了。我女儿已经 6 岁多了, 都开始学习写汉字了。
★ 我有两个孩子。()
- 23 今天是 7 月 13 日, 再有三天就是我爸爸的生日了。我想送他一个电脑。
★ 7 月 16 日是我的生日。()
- 24 喂, 姐, 我的飞机是十点零七的, 再有 21 分钟我就到机场了。我们下午见。
★ 我在去机场的路上。()
- 25 昨天和朋友们在外面玩儿了一个晚上, 很累, 但是很高兴。
★ 昨天玩儿得不高兴。()

第IV部(問26から問30)やや長めの文が示されます。その後で、★がついた文が続きます。これは質問文です。この答えとして最も適当なものをA、B、Cの中から1つ選んで、○をつけてください。

- 26 人们常说：今天工作不努力，明天努力找工作。
★这句话的意思主要是：
A 要努力工作 B 明天会更好
C 时间过得太快
- 27 请大家把黑板上的这些词写在本子上，回家后用这些词语写一个小故事，别忘了，最少写100字。
★说话人最可能是做什么的？
A 老师 B 学生 C 经理
- 28 我对这儿很满意，虽然没有花园，但是离河边很近，那里有草地，有大树，还有鸟；虽然冬天天气很冷，但是空气新鲜，而且房间里一点儿也不冷。
★使他觉得满意的是：
A 没有花园 B 房间很大 C 离河很近
- 29 昨天晚上睡得太晚，今天起床时已经八点多了，我刷了牙，洗了脸，就出来了，差点儿忘了关门。到了公司，会议已经开始了。没办法，我只能站在外面等休息时间。
★他今天早上：
A 没复习 B 迟到了 C 忘了关门
- 30 我去年春节去过一次上海，今年再去的时候，发现那里的变化非常大。经过那条街道时，我几乎不认识了。
★根据这段话，可以知道：
A 现在是春节 B 上海变化很大
C 上海人很热情